

山形河川国道事務所渇水対策支部の設置について

連日の晴天続きにより、最上川における流量が低下してきており、早期の流量回復が見込まれないことから東北地方整備局山形河川国道事務所では本日、渇水対策支部（注意体制）を設置しました。

今現在、渇水による重大な取水障害は確認されておりませんが、今後も引き続き水量の低下が予想されますので、注意が必要となっております。

現在も河川の状況や気象等について関係機関と情報の共有化を図っておりますが、各利水者の適正な取水管理や渇水時の迅速な対応などについて、連携強化を図ります。

【最上川等の流況】

8月8日（水） 8時00分現在

単位：m³/s

観測所名	最近5ヶ年の 平均渇水流量	基準流量 (正常流量)	流 量	備 考
稲 下	61.72	30.00	51.04	最上川
中 郷	24.83	11.00	6.69	最上川
小 出	20.68	7.00	12.02	最上川
糠野目	3.80	3.00	2.62	最上川

- ※ 「渇水流量」とは、
1年を通じて355日はこれより低下しない水位で、この時の流量です。
- ※ 「基準流量」とは、
渇水対策支部設置の基準となる流量であり、正常流量を基準としています。
- ※ 「正常流量」とは、
魚類の生息状況、河川の環境、水質等を総合的に判断し、河川の維持に必要な流量です。

〈発表記者会：山形県政記者クラブ〉

〈問い合わせ先〉

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所
住所 山形市成沢西四丁目3-55
電話 023-688-8421
副所長（河川担当） 高橋 孝男
河川管理課長 田村 公仁